

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)サーパス南笹口				
建設地	中央区 南笹口一丁目655-21				
用途地域	商業地域、防火地域				
建物用途	集合住宅				
竣工年	2014年4月 予定				
敷地面積	1,031.85 m ²				
建築面積	470.98 m ²				
延床面積	4,739.28 m ²				
階数	地上14F				
構造	RC造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2012年7月27日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{51}{39} = 1.2$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		維持管理	Q2.1.3	3.0
			更新性	Q2.3.3	3.1
			耐震・免震	Q2.2.1	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		信頼性	Q2.2.4	3.0
			雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.0		節水	LR2.1.1	-
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
1、エネルギー効率を考慮して住むための集合住宅というだけでなく、ECOに配慮した計画とします。 2、地域の環境を配慮し、商業地域であるで落ちついた雰囲気だけではなく賑わいを感じる明るい景観と市、質も守られる周辺と調和のとれた地域づくりを目指します。 3、周辺の建物に配慮し、プライバシー・快適性を高める計画とします。 4、歩行空間に緑地帯を設置し、緑を生活空間に生かした計画とします。					

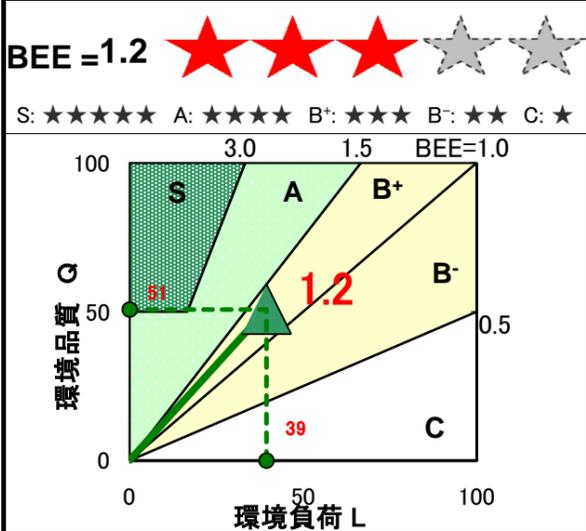
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟

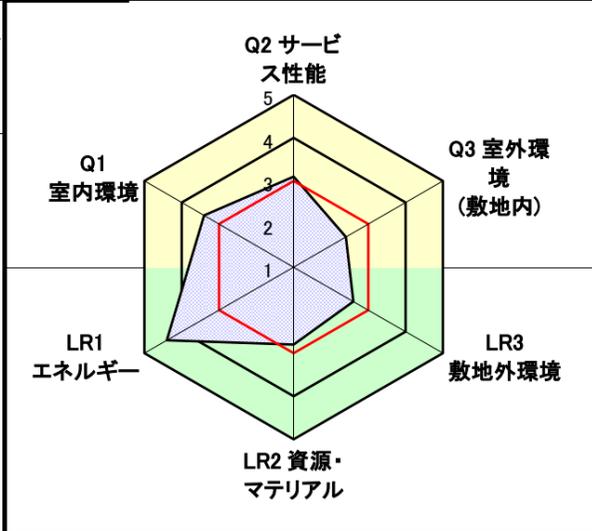
評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

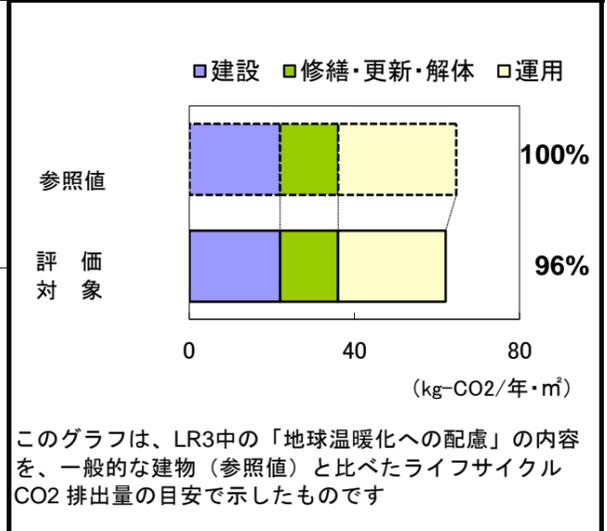
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



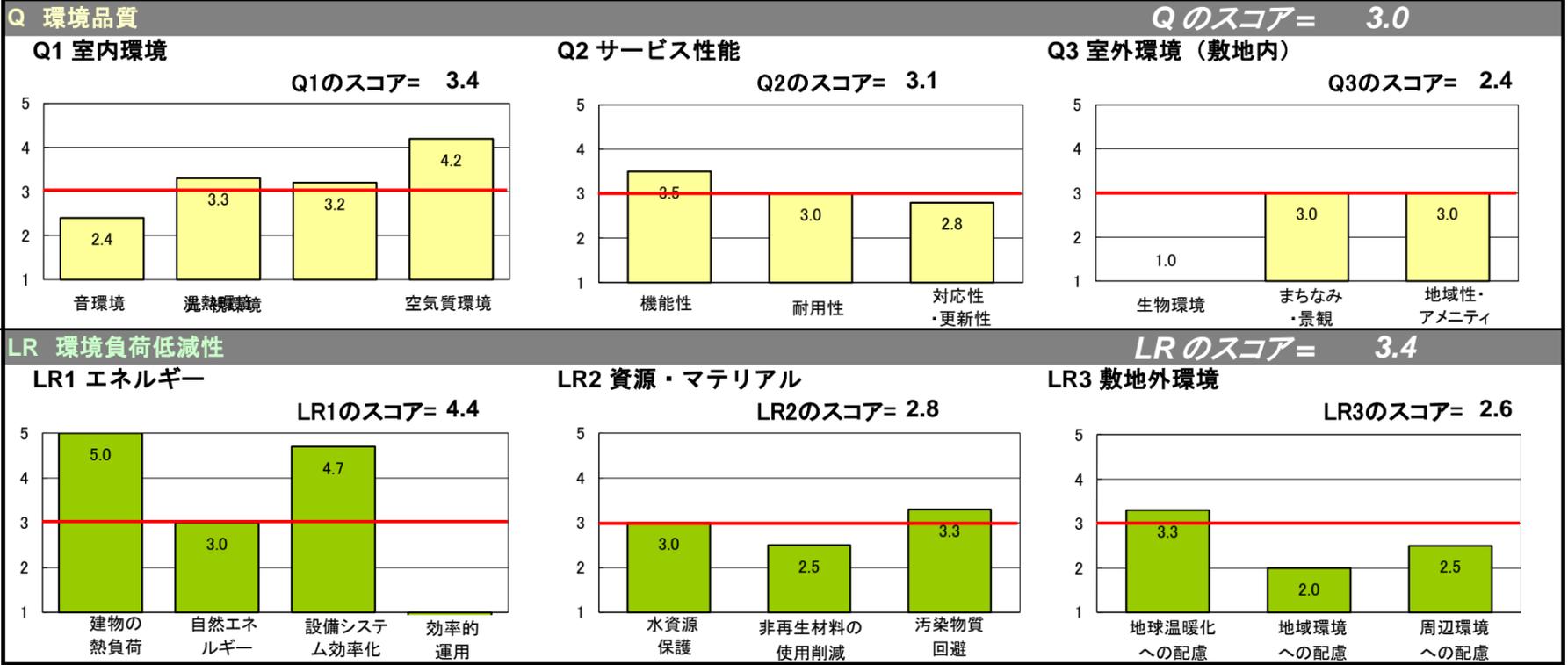
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 エネルギー効率を考慮して、エコジョーズやLED照明、節水型器具を採用し、住むための集合住宅というだけでなくECOに配慮した計画としています。	その他
Q1 室内環境 複層ガラスを採用、外皮部分への断熱材の密着施工などにより、住宅性能評価の省エネルギー対策の等級4を取得します。又内装材にF☆☆☆☆を採用し室内環境に配慮します。	Q2 サービス性能 住宅性能評価の高齢者等対策の等級1を取得します。インターネット回線や節水型便器の標準設置をします。外壁は耐用年数の高いタイルを主体とし建物の維持管理に配慮します。
LR1 エネルギー エコジョーズの採用、LED照明など効率の良いエネルギーの消費を行います。	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓、節水型便器を採用し水資源の有効利用を行います。
	Q3 室外環境(敷地内) 緑地帯を歩行空間に設置し、緑を確保します。主要な出入口・エントランスアプローチ部分にロードヒーティングを設置します。
	LR3 敷地外環境 敷地内に多くの自転車置場を確保し街路空間への駐輪の軽減をはかります。隣地とのプライバシー確保のために窓の位置の工夫、型板ガラスの使用、防風スクリーン等の設置をします。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される